

新・医師確保対策アクションプランの実施状況について（報告）

1 医師の養成・確保及び定着対策

(1) 奨学金等医師養成事業

ア 大学医学部の臨時定員増の継続に向けた働きかけ

岩手医科大学医学部及び東北大学医学部の臨時定員増の継続、さらに定員増の恒久化について、国に要望を行った。

イ 医学奨学金の貸与

○ 医師奨学金等貸付決定の状況（貸付決定時の人員 平成20年度～）（単位：人）

区分 【事業主体】	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	合計	制度創 設からの 累計
①県医師修学資金貸付事業 定員 【岩手県】	10	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	190	H20～ 190
②医療局奨学資金貸付事業 定員 【医療局】	20	15	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	310	H9～ 408
③市町村医師養成修学資金事業 定員 【国保連】	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	195	H16～ 156
合計貸付者数 定員	45	45	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	695	754
貸付定員充足率	84.4%	95.6%	85.5%	92.7%	76.4%	83.6%	80.0%	72.7%	76.4%	87.3%	90.9%	83.6%	96.4%	84.9%	

○ 制度別の奨学金貸付者の状況（R2.4.1 現在 平成19年度以前の旧制度を含む）（単位：人）

貸付年度	貸付	在学中	途中 廃止	卒業	卒業後の状況						
					国試 受験	初期 臨床	義務 履行	猶予	義務 終了	一部 履行	全部 返還
岩手県医師修学資金（地域枠）	190	91	4	95	0	27	34	29	0	0	5
市町村医師養成修学資金	156	61	9	86	0	13	28	18	11	6	10
医療局医師奨学資金等	408	121	26	261	0	42	71	55	53	15	25
合計	754	273	39	442	0	82	133	102	64	21	40
自治医科大学	126	17	0	109	0	0	24	4	78	1	0

ウ 養成医師の定着対策

① いわて医学奨学生サマーガイダンス

奨学金新規貸付者を対象に、地域医療に関する意識の醸成を図るもの。知事の講話や、県内で活躍する医師による講演等を行うもの。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

参加実績：平成29年度_31名、平成30年度_23名、令和元年度_23名

② いわて医学奨学生サマーセミナー

医学奨学生と奨学生 OB・OG 医師との交流を図り、奨学生の段階的成長を様々な角度からサポートすることにより、奨学生の地域医療に取り組む意識の醸成を図るもの。

岩手医科大学奨学生5名が実行委員となってセミナーを企画し、世話人として奨学金養成医師4名が学生をサポートする形で開催（7月）。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ウェブ開催としたもの。（12月）

参加実績：平成30年度_106名（学生77名、OB・OG29名）、令和元年度_98名（学生60名、OB・OG38名）、令和2年度_58名（学生35名、OB・OG23名）

③ 奨学金養成医師集合研修（地域医療実践研修）

中小医療機関に勤務する前の奨学金養成医師を対象に、地域診療（総合診療）マインドの育成を図るもの。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ウェブ開催としたもの。（9月）

参加実績：平成30年度_18名、（令和元年度_開催見送り）、令和2年度_22名

（2）医学部進学者の増加対策

ア 医学部進学セミナー等の開催

① 医学部進学セミナー

高校生に対し医学部進学の動機付けを行うもの。医師の講演、臨床研修医とのフリートークにより、医師の業務内容等について理解を深める。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催方法を見直し、高校2年生の医学部対策講座において、医師による講演を実施。（8月）

参加実績：平成28年度_127名、平成29年度_108名、令和元年度_86名、令和2年度81名（平成30年度は、開催時期の見直し（3月→夏季休暇中）に伴い実施せず）

② 高校生への医学部受験対策（H26年度～）

医学部志望の高校生に対して、医学部入試の傾向や学習方法について予備校の講師による授業を実施してきたところ。

令和2年度からは、保健福祉部、医療局、教育委員会の連携により、高校生に医師を志す動機付けを図るとともに、医学部への進学を希望する高校生の学力向上、医学部への進学を支援する「岩手メディカルプログラム」を新たに開始。

学年	参加者(登録者)						
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
3学年	82人	65人	80人	83人	78人	70人	85人
2学年	70人	83人	77人	64人	66人	69人	74人

※ R2は「岩手メディカルプログラム」参加登録生徒数

また、本プログラムでは、受験対策講座の他、岩手医科大学附属病院及び沿岸被災地の病院を訪問し、講話の聴講や医師体験を通じて、医師の仕事や地域医療に対する理解促進にも取り組む。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、病院への訪問等は行わず、医学部対策講座に県内の医師を招聘して、講演を実施。（2月）

③ 中学生向け医学部進学セミナー等の開催

中学生及び保護者を対象に、予備校講師による講演やオープンホスピタルでの職場体験等を通じて、医師の仕事に対する理解を深めてもらう。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

イ 医学奨学金の周知等

高校の進路担当教諭、医学部進学検討中の高校生、保護者向けに、奨学金制度の理解増進のためのリーフレット等により周知。

(3) 奨学金養成医師の計画的な配置

〔配置調整の概要〕(R2.4.1 現在)

	計	義務履行	猶予	未定	返還
配置1期生(配置5年目)	30人	21人	9人		
配置2期生(配置4年目)	28人	16人	12人		
配置3期生(配置3年目)	36人	19人	16人		1人
配置4期生(配置2年目)	38人	16人	20人		2人
配置5期生(配置1年目)	35人	12人	20人		3人
計	167人	84人(11人)	77人		6人
	地域枠 63人	34人	29人		
	市町村 35人	19人	15人		1人
	医療局 69人	31人	33人		5人

※ () は基幹病院以外(中小病院等)の医療機関に配置する養成医師の人数

(4) 臨床研修医の確保及び定着

指導医の研修等により研修内容を充実するとともに、臨床研修医へのオリエンテーションや各病院の研修プログラムの相互補完により、県内の各病院が一丸となった研修体制を整備。

ア 臨床研修病院合同説明会

医学生を対象に「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群」※を説明し、県内での臨床研修を働きかけ。※13の臨床研修病院

また、希望者に対し病院見学の日程調整を行い、見学に繋げている。

参加実績：平成30年度_324名、令和元年度_330名、令和2年度_214名

(令和2年度は、令和3年1月31日現在)

※ 令和2年度は、岩手医大生を対象とした通常の説明会に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ウェブでの開催を2回実施したもの。(7月及び12月)

イ 県内臨床研修病院合同面接会

臨床研修医の採用面接について、県外からでも交通アクセスの良い盛岡市で、いわてイーハトーヴ臨床研修病院群が合同で面接会を実施することにより県外医学生の参加を促すほか、県内の臨床研修病院を広くPR。毎年8月に開催。

参加実績：平成30年度_43名、令和元年度_46名、令和2年度_45名

今年度の状況 日 程：令和2年8月8日(土)

場 所：アイーナ

受験者：45名(併願を含む延数：68名)

スタッフ：院長・指導医等40名、研修医・看護師長等10名、事務職員等23名

・令和3年度病院別（12病院）のマッチング後の状況

（単位：人）

病院名	医大	日赤	済生会	盛岡市立	中央	大船渡	釜石	宮古	胆沢	磐井	久慈	中部	二戸	計
定員	40	8	4	4	19	7		5	8	8	8	12	5	128
マッチング数	10	1	1	0	19	4		2	6	6	1	10	3	63
2次募集等	1	1				2			1	1		2	1	9
留年等										▲1				▲1
採用予定者数	11	2	1	0	19	6		2	7	6	1	12	4	71

※自治医大採用含む（令和3年1月31日現在）

ウ 臨床研修医合同オリエンテーション

1年次の臨床研修医を対象に、研修を始めるに必要な医師としての心構えや手技の習得を促しつつ、研修医相互の交流を図るもの。毎年4月開催。

参加実績：平成30年度_75名、令和元年度_75名、令和2年度_中止

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

エ レジデント スキル アップセミナー

2年次の臨床研修医を対象に、臨床研修での習得状況を確認し、その場で指導を受け、適切に対応できる診療能力の向上を図るもの。毎年9月開催。

参加実績：平成30年度_67名、令和元年度_72名、令和2年度_中止

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

オ 臨床研修指導医講習会

指導医を対象に、臨床研修医の継続的な確保のため、厚生労働省が示す臨床研修医指導医講習会の開催指針に則り、充実した研修プログラムの作成・提供に必要な講習を行い、指導医の養成を図るもの。毎年11月開催。

参加実績：平成30年度_27名、令和元年度_35名、令和2年度_中止

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

カ 指導医FD（ファカルティ・ディベロップメント）

指導医の一層の資質向上と研修内容の充実を目指すもの。毎年1回開催。

参加実績：平成30年度_9名、令和元年度_中止、令和2年度_中止

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催中止。

キ 研修プログラムの相互補完（いわゆる「たすき掛け」）

県内13の臨床研修病院すべてが協力病院として連携し、各臨床研修病院の研修プログラムについて相互補完し、相互の強みを活かす研修体制。

(5) 寄附講座の設置

障がい児及び障がい者（以下「障がい児者」という。）の医療に携わる医師等の人材育成や確保に取り組み、障がい児者医療の質の向上等を図るため、県の寄附講座として岩手医科大学に障がい児者医療学講座を設置。

設置期間：令和2年度から令和4年度

(6) 即戦力医師の招聘

即戦力となる医師の確保を図るため、岩手医科大学同窓会（圭陵会）医師、県出身医師、大学医学部などを個別訪問し、医師と面談。

ア 招聘医師数の状況

(単位：人)

項目	H18 ～ H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
招聘数 (うち既退職者)	26 (17)	16 (12)	24 (19)	25 (19)	10 (7)	11 (4)	8 (4)	9 (5)	9 (3)	6 (2)	16 (5)	9 (1)	169 (98)
累計	26	42	66	91	101	112	120	129	138	144	160	169	—
在職者数 (各年度末)	22	34	51	61	65	62	65	66	68	62	71	71	—

令和3年1月31日現在

イ 招聘医師の退職の状況

(単位：人)

項目	H18 ～ H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
年度別退職者	4	4	7	15	6	14	5	8	7	12	7	9	98
累計	4	8	15	30	36	50	55	63	70	82	89	98	—

※年度末退職者は翌年度に計上

令和3年1月31日現在

(7) 自治医科大学卒業医師の配置

令和元年度		令和2年度		
義務履行中※	17	義務履行終了	0	} 義務履行 20名
後期研修	4	義務履行 継続	15	
		義務履行 再開 (後期研修終了)	2	
初期臨床研修	6	義務履行 開始	3	
		後期研修 継続	2	} 後期研修 4名
		後期研修 開始	2	
計	27	2年次初期臨床研修	3	} 初期研修 5名
		1年次初期臨床研修	2	
計	27	計	29	

※初期臨床研修を除く。

(8) 地域医療支援センターによる医師不足医療機関の支援

医師の地域偏在解消を図るため、医師不足の状況等を把握・分析し、地域医療に従事する医師のキャリア形成支援、医師不足病院への医師の派遣調整等を行っている。

(9) 県内市町村との連携強化

単独事業により医師養成事業を実施している9市町と、奨学金制度や専門医制度などに関する情報を共有し連携することを目的とする情報交換会を開催。

2 医師偏在対策

- (1) 奨学金養成医師の計画的な配置 (再掲)
- (2) 地域医療支援センターによる医師不足医療機関の支援 (再掲)
- (3) 奨学金養成医師の診療応援・短期派遣

○ 奨学金養成医師による中小病院等への応援状況 (地域枠義務履行)

年度	応援医師数 (人)	配置先基幹病院 (応援医師数)	応援先医療機関 (応援医師数)
R 1	2	中部(1)、釜石(1)	5施設 遠野(2)、千厩(1)
R 2 (予定)	6	中部(3)、 宮古(1)、二戸(2)	5施設 さわうち(2)、金ヶ崎診療所(1)、山田 (1)、軽米(1)、九戸センター(1)

- (4) 自治医科大学卒業医師の配置 (再掲)

(5) へき地医療対策等

○ へき地拠点病院からへき地診療所への医師派遣等実績 (単位：施設、回)

へき地拠点病院	H29		H30		R 元	
	施設数	回数	施設数	回数	施設数	回数
県立中央病院	1	15	1	37	2	42
県立久慈病院	1	1	0	0	1	13
済生会 岩泉病院	4	92	4	96	4	95
清和会 奥州病院	4	101	4	98	4	99
合計	10	209	9	231	11	249

※ 清和会奥州病院：巡回診療の実施地区数及び回数

(6) 積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等

ア 地域医療基本法制定に向けた取組

- HPやリーフレットを活用した広報
 - ・ 全国知事会議において、リーフレットを配付
 - ・ 地域医療基本法ホームページを活用した広報

イ 「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」の情報発信

- 構成12県の知事等による会議を開催 (7/21：web会議)
- 自民党「医師養成の過程から医師偏在是正を目指す議員連盟」において、知事の会の提言内容を紹介 (8/7・12/1)
- 厚生労働副大臣に面会し、提言実施 (8/7)
- 地域医療基本法ホームページを活用した情報発信

3 医師のキャリア形成支援

(1) 臨床研修医の確保及び定着（再掲）

(2) 専攻医の受入態勢の充実

専門研修プログラムのガイドブックを作成し、奨学金養成医師との面談やセミナー等の機会を通じて、本県プログラムの周知・PRを実施。

(3) 総合医の育成

奨学金養成医師を対象として、地域診療（総合診療）マインドの育成を図る奨学金養成医師集合研修（地域医療実践研修）を開催。

(4) 奨学金養成医師対応したキャリア形成プログラムの充実

奨学金養成医師の具体的なキャリア形成と義務履行の両立について、関係者の理解を促進するため、診療科別の具体的な義務履行モデルの作成に向け検討を行っている。

4 女性医師やシニア世代の医師等の多様な働き方の支援

(1) 女性医師就業支援事業

保育者を確保する「育児支援」と、離職医師の復帰研修を行う「職場復帰支援」。

R元年度実績：育児支援（支援日数）44日（延べ利用者3人）、職場復帰研修4人

(2) 院内保育所夜間運営支援事業

夜間延長保育の導入を促し、女性医師の離職防止及び再就業を促進。

R元年度実績

病院名	実利用者	延利用者	延利用日	延利用時間
岩手医大病院	7名	83名	46日	166時間

5 医師の働き方改革等に対応した勤務環境改善支援

(1) 勤務環境向上支援

過重労働等による勤務医の離職の防止や、医療安全の確保、近年増加している女性医師の就業支援など、勤務医の勤務環境向上に向けた取組みを推進。

ア 産科医等確保支援事業

分娩手当等を支給する病院に対し、必要な経費を補助。

R元実績：岩手医大附属病院、盛岡赤十字病院、北上済生会病院及び県立8病院 計11病院

イ 新生児医療担当医確保支援事業

NICU担当医に手当てを支給する病院に対し、必要な経費を補助。

R元実績：岩手医大附属病院 1病院

ウ 中核病院診療応援事業

中核病院の医療提供体制を確保するため、地元医師会の協力を得て開業医との連携による診療応援体制の整備に要する経費に対し補助。

R元実績：釜石市（診療応援）、県立4病院（診療協力：釜石、磐井、遠野、一戸）

(2) 医療勤務環境改善支援センター

専任スタッフの配置や労務管理等に関する専門アドバイザーの派遣等により勤務環境改善に取り組む医療機関からの相談に対応しているほか、各医療機関の勤務環境改善の取組に要する経費を補助（補助率1/2、補助上限額150万円）。

R2年度補助見込：5病院（岩手医大、北上済生会、都南、孝仁、リハセン）

(3) 医師の働き方改革の推進と地域医療を守るネットワークいわて

医師の働き方改革を進めながら、地域の医療体制を確保していくための課題等を関係団体で共有し、関係団体による取組を一層推進することを目的として設置。令和2年度は、医師の働き方改革に関する研修会をWEBで開催。

令和2年度実績：33病院等参加

6 地域医療の確保に向けた働きかけと情報発信

(1) 県民総参加型の地域医療体制づくり

ア 県民みんなで支える岩手の地域医療推進事業

イ 県民への意識啓発のため、テレビCMやWeb媒体等を活用した広告（2～3月予定）を実施するほか、各地域の実情に応じた出前講座等を開催。（直近のコロナ感染症の状況を踏まえた適正受診の内容に変更）

(2) 積極的な偏在対策の実施に関する国への提言等（再掲）

(3) 医師少数都道府県連携による情報発信（再掲）